

# 北海道手をつなぐ育成会 げっぼう

令和6年度北海道障がい者が暮らしやすい地域づくり推進本部会議  
道育成会から

## 「結婚・出産・子育ての支援について」意見表明

(伊達市手をつなぐ育成会 小林繁市 会長)

去る6月5日に、「障がい者が暮らしやすい地域づくり推進本部会議」が開かれ、道育成会から小林繁市さんが出席し、知事をはじめ関係道職員に意見を述べました。その概要を掲載します。



本会議のテーマであります「結婚・出産・子育ての支援」は、就労支援、生活支援と並んで、私の職業生活における三大テーマでした。

### 願望はあっても結婚できない現状

平成25年度障害者白書によると、一生涯配偶者のいない未婚率は、知的障がい者は97%と突出して高い割合です。一方で同調査では、約66%が「いずれ結婚するつもり」と回答し、また昨年北海道がグループホーム入居者に対して実施した調査でも、39%が「交際したいと思ったことがある」と答えており、決して交際や結婚への願望がない訳ではありません。

しかし実際に結婚にまで至るのはわずか3%という悲惨な結果で、これは

1948年から約50年間にわたって続いた優生保護政策の影響が大きく、未だに国民の間に、障がい者の性や結婚に対する否定的思想が色濃く残っているからだと思います。

こうした差別や偏見を払拭していくには、全国に先駆けて施行した北海道障がい者条例の中に、「結婚や子育てに必要な支援を受ける権利があること」を新たな条文として盛り込み、障がい者の性や結婚に対する支援策について、積極的に取り組む必要があります。かつて北海道が、障がい者の結婚や出産を否定して優生手術を奨励し、優生保護法の適用による手術数が全国一であったことの汚名を晴らすための、最も重要な使命であると思われれます。

### 結婚・子育て支援の必要性

北海道地域福祉生活センターが実施している日常生活自立支援事業の現在の利用契約者数は633名で、そのうちの178名(28%)が知的障がい者です。内訳は、未婚118名、既婚60名(婚姻継続中23名、離婚19名、死別18名)となっています。この事業の利

用者は、それまで障がい福祉サービス等を利用したことがない人たちが中心で、知的障がいについては、既婚者60名のうち「子供がいる」が51名(同居20名、別居31名)です。子供のいる世帯の比率は85%で、昨年度から実施している北海道知的障がい福祉協会調査における、現在障害福祉サービスを利用している結婚者(内縁も含む)のうち、子供のいるカップルの比率14%より、かなり高い数値となっています。

二つの調査から、結婚後、障がい福祉サービスを利用していない人は、生活面、経済面、人間関係等による破綻などから離婚率(32%)が高く、また子供の出生率も高く、それにあわせて養育困難から来る子との別居率(61%)も高いなど、様々な問題をかかえていることがわかります。

私は30人を超える人たちの結婚支援に携わってきました。結婚支援はグループホームでの共同生活やアパート等での単身生活よりも支援が容易で、また好きな人との暮らしですから、当然満足度も高くなります。

### 相談支援が最も重要

結婚生活を支える最も重要な支援は、いつでも、どこでも、どんなことでも気楽に頼れる「相談支援」の存在です。結婚支援は、居住、就労、家計、

(2ページに続く)

子育て支援などの総合的な支援です。様々なニーズに応じて支援を組み立てていくコーディネートが必要で、すべての相談支援事業所（特に委託相談）に、結婚や子育ての支援を義務づけていく必要があると思います。

結婚や子育て支援は、行政を初め、各種相談支援事業所、グループホームや居宅介護事業所、日常生活自立支援事業など、密接な地域連携が必要です。こうした各種資源を総動員できる仕組みとして、地域生活支援拠点があります。支援を必要とする障がいのあるカテゴリーについては、積極的に支援登録を行い、日頃から安心安全を担保できるような仕組みを構築していくことが必要です。「愛する人がいる」ことは人生にとつてとても幸せなことであり、この思いを大切に育てていくことは、周囲の人たちの使命であると思われま。この実現に向け、三点の要望をいたします。

一点目は、北海道障がい者条例の中に、「結婚や子育てに必要な支援を受ける権利がある」ということを新たな条文として盛り込むこと。

二点目は、すべての相談支援事業所（特に委託相談支援事業所）に、その役割を担うよう義務付けること。

三点目は、179市町村のうち83市町村（46%）に整備されている地域生活支援拠点に対して、支援の必要な結婚や子育てカテゴリーの支援登録を行い、安心安全を担保できるような仕組みを構築するよう道から指導すること。

以上、よろしくお願ひします。

## オホーツクブロック講演会

日本理化学工業社長

### 大山隆久氏の講演と

### キットパス体験

オホーツク・文化交流センターで令和6年8月3日、日本理化学工業社長の大山氏の講演「働く幸せのために「社員から教わったこと」を同社のキットパスアートインスタラクターメンパーと共同開催しました。同社は障がい者雇用率が70パーセントを超え、「日本一大切にしたい会社」としてテレビ番組に取り上げられたり、24時間テレビでドラマ化されたりした有名な会社です。

広域なオホーツクブロックでは、なかなか集結することができませんが、昨年度の美幌町での映画会の成功を受け、次は網走で障がい者就労の促進につながる講演をとということを実施することになりました。

企画段階から網走市役所の福祉部長、課長、社会福祉協議会の課長らの全面的なバックアップがあり、とても心強かったです。財政的には生活サポート協会の助成や、網走市、社協、日体大附属高等支援学校、福祉施設のオンラインズヨピト、株式会社テルへの協力を得ました。

ロビーでのキットパス体験も大盛況でひっきりなしに人が訪れていました。同日開催していた難病連全道大会に来たお客様も見学したり、買い物をしてくれたり、イベント



がぶつかりました。相乗効果もありました。講演会には開場前から人が来て、道内各地から150名もの人がぎっしりと詰めかけ、椅子を出しても出しても足りないほどでした。はじめに生活サポート総合補償制度の説明があり、「そういった保険があるのか」と、みんなが関心を寄せていました。

続いて大山社長の講演では、全員が熱心に耳を傾けました。同社はホタテの貝殻を使ったダストレスチョークで一世を風靡しました。デジタル化に伴い需要が激減。障がいのある人の雇用を継続するためにも、つるつるした面に描け、誰もが楽しめる画材キットパスの開発に成功したそうです。障害のある人に対する働き方の工夫を常に行い、職場改善を行っている取り組みがいくつも紹介されました。「人間が持っているのは共感。誰かの役に立つことが幸せにつながる」という基本をいつも社員から教わっている」と社長さんは謙虚に話してくれました。

同社ではキットパスを広め、日本中の人に楽しんでもらうためにインストラクター制度も導入。北海道に2人いる認定講師の一人が網走の鴻巣さんで、総勢17人のインストラクターと育成会が一緒に会場を切り盛りしました。育成会だけでは為し得ない喜びと幸せがあふれました。

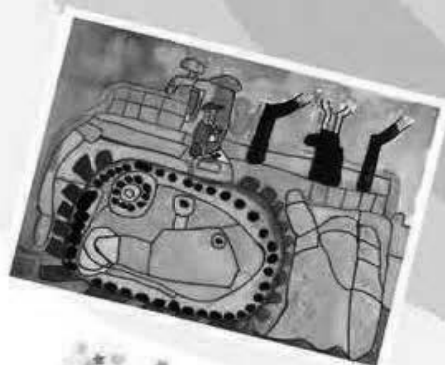
（オホーツク地区手をつなぐ育成会連絡協議会

副会長 小西 栄理）



# 販売予約受付中!

## 2025 北海道 手をつなぐ育成会 カレンダー



裏面の注文書にご記入の上、FAXか郵送  
でご注文ください。団体の方は、各育成会  
や事業所で取りまとめてご注文ください。

**A** 壁掛けカレンダー  
**1,200円**

**B** 卓上カレンダー  
**600円**

- カレンダーを30部以上ご購入で、希望される方には『団体名シール』を30枚以上無料で  
お付けいたします。会員様宛や利用者様宛、各所に配布される際にご利用ください。
- 11月29日(金)まで申込受け付けます。

# 2025 いくせいかいカレンダー注文書

FAX番号 011-251-0804 E-mail : doikusei@air.ocn.ne.jp

種類	単価	冊数	団体名シール		金額
			希望有無	枚数	
A. 壁掛けカレンダー	1,200円				
B. 卓上カレンダー	600円				
合計					
団体名シール印字内容 ※印字したい文字を正確にご記入ください。	記入例：(一社)北海道手をつなぐ育成会				

※団体名シールは、カレンダー合計30部以上ご購入で、希望される方に無料でお付けします。  
(縦1.2cm×横8.2cmのシールに団体名を印字したものとなっています)  
ご希望の有無と、必要枚数・印字内容をご記入ください。(申込み締切り：11/29(金)必着)

☆カレンダーのお届け先をご記入ください。

お届け先住所	〒 -		
お届け先氏名			
電話番号	( )	-	
備考 (連絡事項)			

☆お支払方法…カレンダー発送時、郵便振込用紙を同封いたします。  
(振込手数料はお客様ご負担になります)

☆今後のサービス向上のため、アート作品ご応募・カレンダー購入時について、ご意見・ご感想・ご要望等をお聞かせください。

お問い合わせ

一般社団法人 北海道手をつなぐ育成会  
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2.7 4階  
電話…011-251-0855 FAX…011-251-0804

## 当事者本人の提言から考える

### シンポジウム「地域生活を考える」

コーディネーター

小谷素美子氏（障がい者生活支援センターほすてる所長）

提言者

島 信一朗氏（インクルージョンみらい推進機構代表）

三浦 正春氏（北風の会／札幌みんなの会会長）

横川 由紀氏（自立の風かんばす代表）

函館大会のプログラムの二つの柱は、冒頭の映画上映「筆子・その愛」天使のピアノ」と監督の講演、そして、後半のシンポジウムです。

シンポジウムのテーマは、障がいのある人にとって、地域の中で生活することの大切さとその課題です。誰にとっても自分の住みたいところで生活することは、当たり前のこと。障がいがあることで、希望する生活がかなえられなかったり、必要な支援が受けられず、豊かな暮らしができなかったりすることは、解決しなければならぬ社会としての課題です。障がい当事者である3人の方々に、地域で生活する中で、どのようなことを感じ、どのような地域社会の在り方を望むのかなどを語っていただき、障がいのある方、そして誰もが豊かな生活を送ることができる地域社会について、考え合いたいと思います。

函館大会が目前に迫って来ました。実行委

員会一同、準備を万端にしてお待ちしております。

～函館大会に参加する皆様へ～

会場の函館市民会館へは、昼食を済ませてお越し下さい。市民会館周辺にも飲食店がありますので、ご利用ください。

## 障がいのある方の外出を考える！

### 移動支援事業について

7月21日(日)の午後、旭川市障がい者福祉センターおびつたにて約40名の方々とともに、障がいのある方の外出について考えました。移動支援事業について説明をした上で、2回のグループワークを行い、その中で次のような意見が挙がりました。

- ・ハード面でのバリアフリー整備が必要
- ・移動支援や障がいのある方の外出の状況が地域住民に知られていない
- ・移動支援事業の報酬単価と人材不足で悪循環になっており、報酬改定が必要
- ・親なきあとなどに、本人が生きるために必要なことや、将来の支援の担い手となるのは困る

その中でも移動支援事業について、「行政に対して何とかして欲



しい」という話が多くありました。当事者や家族にとっては将来安心して生きていくために、事業所にとっては事業を維持継続していくために、移動支援事業の改善の見直しが必要で、これらの意見をまとめ、旭川市に要望書として提出するため、現在作業を進めています。

この数年でヘルパーが半減している状況などを見ると、このまま黙っていると、おそらくこの事業自体が衰退、さらには無くなってしまいう可能性が有ります。この重大な状況に対し、報酬改定や要綱の改定などを合わせて要望していきたいと思えます。将来本人たちが生きていくための課題が山積していると思えますし、社会が混とんとしている状況の中で、障がいのある方々の生活自体が危ぶまれることもあると思います。なかなか声に出しづらい社会ですが、みんな声を出して伝えていく必要性を感じています。

地域をバックボーンとして多くの方に知っていただきながら、「みんなが市民である」ためにもインクルーシブな社会につなげていくこと、今だけでなく将来と言う部分を考えて本人支援に対して忠実に行動することが必要です。今回の取り組みが一つのきっかけであると感じています。

（旭川手をつなぐ育成会 副会長 野々村 雅人）

## 9月の予定

9日(月) 第6回三役会議・第2回理事会議  
28日(土) 第69回全道大会 函館大会

知的障がい児者・自閉症児者の  
生サポは **家族の安心を支えます**

発達障がい児者の方もご加入いただけるようになりました。

- 日常生活に関する相談支援
  - 就労に関する相談支援
  - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、  
知的障がい児者、自閉症児者のための  
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

生活サポート総合補償制度は…  
全国で約15.5万人※のみなさまにご利用いただいている補償制度です。

※2023年11月時点

AIG損保の普通傷害保険

**生活サポート総合補償制度**

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、  
職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー 北海道支店

〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102

レジディア大通公園2F

TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704

受付時間: 午前9時～午後5時

(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

https://www.aig.co.jp/sonpo

札幌支店

〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F

TEL: 011-204-7510

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かねる2・7 4階

北海道手をつなぐ育成会内

TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2024年1月現在の内容です。(D-007025 2025-03)

主な補償内容

病気やケガで入院したとき 入院給付金	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任補償
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 <small>※プランによって補償します</small>
病気で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金 <small>※プランによって補償します</small>	就労中に他人にケガをさせたり 物を壊してしまったとき 職業従事事故対応費用補償 <small>※プランによって補償します</small>

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

知的障がい・発達障がい、ダウン症、てんかんのある方、ご家族に

病気やケガが絶えない…  
成人病や生活習慣病に備えたい…  
他人の物を壊してしまった…  
虐待・雇用現場での差別など  
人に相談しにくい悩みがある…

このようなお困り事に  
心当たりがある方に…

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの  
**あんしん保険**  
少額短期健康総合保険(無告知型)2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの  
**こども傷害保険**  
特別短期補償付傷害保険 2019年創設

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、  
弁護士がサポート

弁護士が  
全面的に  
サポート

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

ぜんち共済株式会社  
関東財務局長(少額短期保険)第14号  
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5九段北325ビル4階

0120-322-150  
平日9時～17時(土・日・祝日・年末年始を除く)  
URL: http://www.z-kyosai.com/

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

【2020年1月作成 19-T06633】

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

有限会社オフィスブレイン  
〒060-0032  
北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2階  
TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の  
目的です。私たちは、『経営』と『志』の統一を  
目指しています。体力のある事業所も体力のない  
事業所も助け合います。あなたの事業所の入会を  
待っています。

**北海道手をつなぐ育成会  
事業所協議会**

〒060-0002  
札幌市中央区北2条西7丁目 かねる2・7(4F)  
電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804  
E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp

★会員事業所紹介★

NPO法人 苫小牧市手をつなぐ育成会  
**ワークセンターるーぷ『ひので』**

〒053-0043 苫小牧市日の出町2-8-23  
電話 (0144)37-9678  
E-mail: ikuseikai@aria.ocn.ne.jp

★多機能型事業所  
定員80名(就労B…55名、生活介護…25名)

★主な作業

- ☆菓子製造(どらやき、クッキー、かりんとう他)
- ☆EMボカシ製造
- ☆請負作業(きのご栽培容器清掃、菓子箱折、ゴミ袋封入)
- ☆施設外就労(ガスター検針、スーパーマーケットバックヤード業務)

～地域と共に歩み  
手をつなぎ支えあう～

